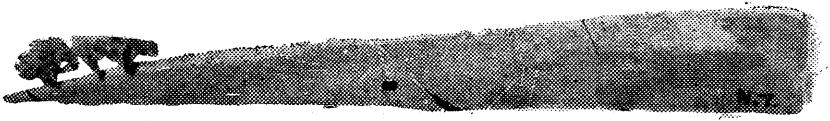


地域社会における幼児の特性と保育

— 繁華街と集団住宅地とを比較して —

友 田 静 恵



「社会環境と生活指導等について」これは文部省主催第一回幼稚園教育研究集会、東京会場、第四班に与えられた研究主題であるが、いつの時代にも社会環境と生活指導という問題は、切つても切れない相関関係にある。

元来、教育の計画をたてるのに、教師の頭の中にある、或る一つの理想像と、地域社会の要求とを考慮して、たてるのであるが、とすれば地域の中にある幼児の実態よりも浮き上つた計画になり、実際にはそぐわないプランになりがちである。

幼稚園の教育目標を達成する為には、実際に即した幼児の生活全般に亘つて、綿密な計画をたてる必要がある、この計画をたてるにあつては、地域各々の社会概況と、幼児の実態並に父兄の要求により、教育の計画をたてる事が望ましい。

そこで私達は先づ何よりも考えなければならぬ事は、地域社会の動態、文化、生活習慣、地域にみられる教育上好ましくない状態を、どのように受け止めるか、教育上有利な点はどのようにして幼稚園では効果的に利用するか、地域にある文化財の活用はどのようにしたらよいか等々、それぞれの実態調査を基盤として、保育の方向が決められなければならない。次に東京都の繁華街にある新宿幼稚園と集団住宅地域にある、牛込仲之幼稚園の実態について比較して述べてみよう。

◎新宿幼稚園

〈地域の特性〉

繁華街!! 新宿は、国鉄新宿駅を基幹として、都電、小田急、京

王帝都、西武電鉄と公、私鉄の発着駅が集中し、朝夕のラッシュ時には、東京駅につぐ人の波がみられる。

新宿駅を中心として、西口商店街と東口商店街があり、前者は主として、衣類、雑貨の新興商店街と飲食店、パチンコ遊戯場が多く後者はグリーンベルト（街の美観を作る為道路の中央が細長い花壇になっている）を中心に、西側に銀座をしのぼせる、高級専門店と三越、伊勢丹の各デパートがあり、更にこの外側に映画街と飲食店パチンコ店、特飲街がある。グリーンベルト商店街のつきたところに、緑の自然公園、新宿御苑が繁華街のオアシスの役割を果し、都電の線路添いに、新宿区役所、銀行、会社とビジネスセンターが、伊勢丹の裏側、四谷三光町の交差点に花園神社があり（神社の境内に浮浪者もいる）垣根を隔てて、新宿区立四谷第五小学校に併設の新宿幼稚園がある。夜ともなれば街はネオンに彩どられ、街頭には夜の淑女？ が客を引き、パチンコの賞品買いや街の顔役が現われるという、文字通り社会の縮図である。

このような繁華街に幼児達は生活し、最新の文化？に接し、たえず強い刺激を受け、騒音の中に成長しつゝあるのである。

次に研究集会の資料として、同園より提出されたものに基き、その実態と保育の方向についてのべてみよう。

《幼児教育上環境的に良い点》

1、新宿御苑が近くにあり、徒歩にていけること。自然に恵まれないこの地域においては、自然物に接するには最適の地で、園外保育に度々出かけられる。

2、新宿駅に近いので、汽車、省線、郊外電車、自動車等乗り物に対する観察が自然におこなわれ、科学的なものへの関心が高められる。

3、良い映画が常設館にかかったらすぐに見られる。

4、デパートの屋上にある子供の遊戯場には、いろいろの遊具が完備され、降園後利用して遊べる。

5、文化的な施設が多い為、子供の常識が普通よりも発達している。

《幼児教育上環境的に困る点》

1、交通が頻繁で通園に危険である。校門前は電車道路で、自動車や電車がひっきりなしに通る。

2、大部分の家庭は商業を営み、住宅地と異り、夜遅くまで営業しているので、子供も夜更しがちになる。

3、公園や遊園地、家庭での遊び場が無い為、道路上で遊ぶようになる。

4、花園神社の浮浪者が園庭に塵や汚物を投げ込むことがあり困惑している。

5、特飲街が近くにあるので、夕刻ともなれば接客婦の好ましくない情景などが目に入る。

6、幼児には好ましくない映画が映画館にかゝり、これらの看板が目に入る。

7、ストリップ劇場の看板が目に入り、刺戟が強すぎる。

8、街の空気が悪く、街中が常にこったがえしている。

9、ヘリコプターで宣伝用のピラがまかれ、これを拾いにとび出し、危険である。

10 商業主義的な玩具や刺戟の強い読物が店頭に飾られ、子供の購売欲をそとる。

11、街全体の色彩が華美で刺戟が強く、落付いた気分になれない。

12、ジャズや広告宣伝放送が街のあちこちから流れ、終日喧騒である。

13、家庭が夜遅い職業の為、朝寝坊が多い。

《地域社会の指導について》

前述のように、商業を営む家庭が多い為、子供と一緒に食事をしたり、遊んだりということが少いので、その為幼児の基礎的な生活習慣を身につけてやるべき、この時期に十分な躰が行われていない状態であるから、特にこの点を父兄に話し、入園前の懇談会、PTAの教養部会等を通じて、園の保育方針と、幼児期の教育の重要なことを認識させるのに努めて来たが、何しろ職業と場所柄、一家の主人が家をあげるということに、大変な努力を要するので、この点幼稚園の方でも、時間と会の内容、主旨などを考慮して、父兄が出やすいように計画し、幼稚園と父兄が一体となつて、環境から来る教育上マイナスになる点の排除に努めた結果、徐々にプラスしつゝ、教育の目標に向つて歩みを続けている現状である。

《PTAの会の持ち方としては》

1、割合に商売の暇な時間、午後二時―三時に持つ。時間は特に厳守する。

2、平常着のまゝで出席する。

3、欠席者の為には会の要項を印刷にして渡す。

4、会の内容は十分に検討して、父兄に分りやすく、しかも出席してよかつたと感じさせるもの。

《保育の方向》

1、幼児の家庭は土一升金一升ともたえられないような土地にあるため、各建物と建物の間隔は一寸の隙もないといった状態で、家庭には遊び場が少く、自然物に接する機会もないので、幼稚園では園庭に池を作りその囲りには芝生を植え、庭の隅には雑草園も作り、小鳥小舎はか成りの飼育費と経費をかけて一間半平方の小舎を完備し、カナリヤ、十姉妹を飼い、鶏舎、兎舎には幼児が自由に入つて餌の世話や兎を抱いて遊べるようにし、室内にも金魚や亀を飼い、四季それぞれの景物を準備し、幼児をとりまく生活すべてが、自然の中にあるように工夫し、街の騒音や度を過ぎる刺戟より護り、幼児本来の、天真爛漫な生活を営ませるように仕向けている。

2、街から流れるジャズ狂躁曲はシャットアウトするように、たえずよい音楽を流し、楽しい雰囲気を作るように心を配る。

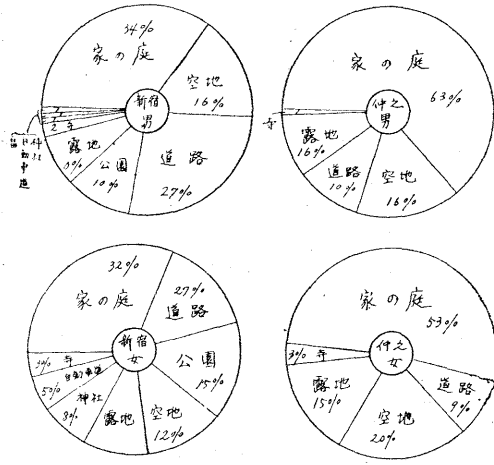
3、文化指導については、特に幼児の興味を正しく伸すよう周到な計画をたて、今幼児達は街でどのような文化に接しているかを調査し、いきなり教育的匂いの強いものをぶつけることなく、幼児の夢や空想を育て、その想像の世界の底に教育的な意同をしのばせ

つゝ、幼児が自然にこれらのものを吸収するように仕向ける。

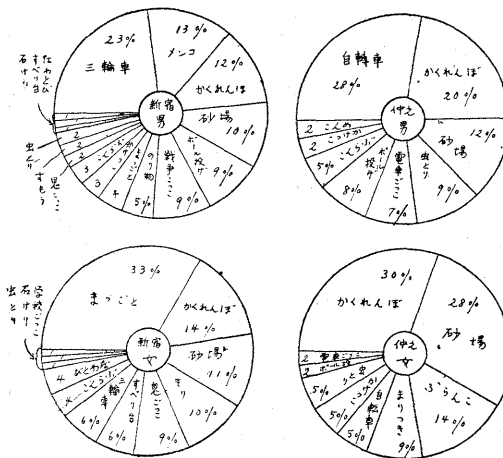
街のあちこちでは街頭紙芝居の、刺戟の強い色彩のどぎつい、スリルに富んだ探偵物や冒険物が幼児たちの興味を嫌が上にも刺戟し素直な鑑賞眼をゆがめているので、こうした面から、正常な興味へ引き戻すべく、幼稚園では幼児の感情生活を整理するように、出来るだけ色彩の美しい画面の明るい鮮明なものを選び、又幼児と共に自作し、年令の発達と共に内容も高めていくように指導している。

人形劇は著名な人形劇団を招いて上演したり、学校の子供会の、ものをみせたり、又自分たちで演じたりして、創作的な美しい心情

家の外ではどこで遊ぶか



屋外では何をして遊んでいるか

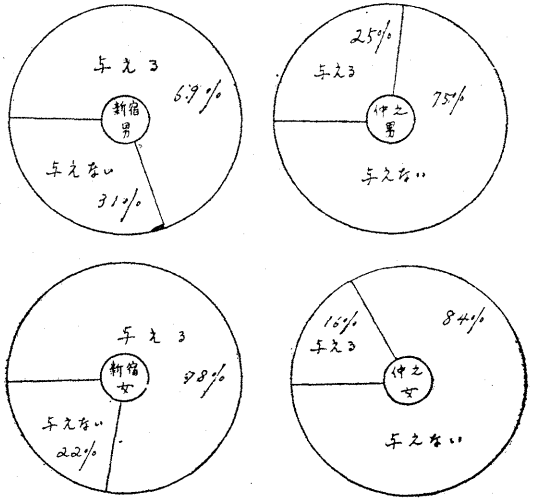


を育てるように心がけている。

ラジオは子供に与える影響を考えて、幼児の好むものばかりでなく、教育的に価値のあるもの、特に木園では母屋である、四谷第五小学校の完備した放送室より流れて来る校内放送を聴かせたりしている。これは校内のものだけに特に幼児は興味をもつてきいているようである、(註 四谷第五小学校の校内放送施設は校長兼任園長が全国学校放送協議会の会長であるだけに、都内でも有数な設備を誇るものである)

4、室内の環境設定としては幼児の遊びが豊かになるように、教

おこづかいを与える。

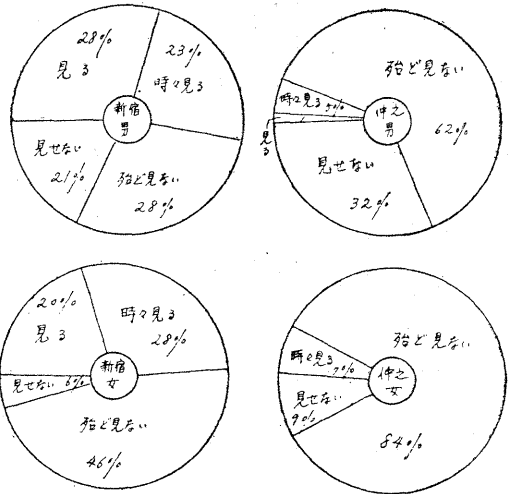


材、製作の素材などを豊富に準備し、自発的な作業が楽しく出来るように心を配り、室内の装飾などは、街の騒音や色彩から来る刺激を出来るだけ避けるように、簡素で清潔にということをモットーとしている。

◎牛込仲之幼稚園

《地域の特性》

この地域は戦前屋敷町と称せられ、旧華族や陸軍の将官等、上流



階級と呼ばれた人達の住んでいた仲之町と一般住宅の河田町、寺院の多い薬王寺町とで、環境としては比較的恵まれた場所、新宿へ十五分、丸の内のビジネスセンターへバスで二十五分という足場の便利な町でもある。

仲之町の屋敷町は震災を受け、現在昔の面影をとどめているのは旧徳川侯爵邸の河田町会館だけで、あとはすっかり面目一新、銀行の寮や社宅（日本興業銀行、三和銀行、第一銀行、東京生命、朝日生命）公務員住宅、都営住宅、住宅営団の鉄筋四階建アパートがあり、近くには駐留軍司令部、東京女子医科大学、同附属病院、成城高等

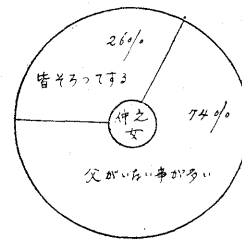
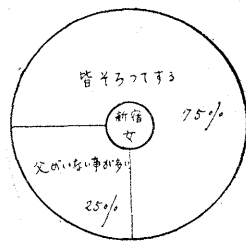
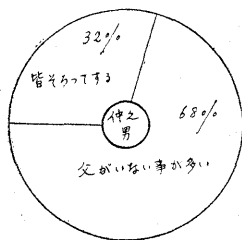
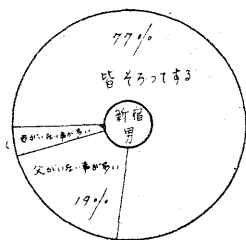
学校等がある。

幼稚園の前の道路は自動車の交通も激しいが、夜はひっそりと静かて、住宅街としては最適のところである。

《幼児教育上環境の良い点》

1、近くに神社、寺院、草原、公園等があり、自然観察や虫取り遊びが出来る。新宿御苑に徒歩で、二十五分かゝると行けるので園外保育の場所に恵まれている。

2、新宿に近いので休日や降園後父兄同伴で、デパートや子供向



きの映画を見にいける。

3、豊島園へも直通バスで行けるから、休日にはこれらの文化施設の利用が出来る。

父兄は九〇%が勤め人であるから、規則的な日常生活を営んでおり、日曜日は子供デーで一家揃って郊外に出かけたり、母親が教育に熱心で子供の面倒をよくみる。

4、PTAには半数以上の出席があり、学級別保育参観の折は九〇%の出席率で、子供の教育について熱心な討議が行われる。

《幼児教育上環境的に困る点》

1、父親が勤め先の都合で、夕食時に家庭にいない事が多い。

2、集団住宅が多い為、子供の遊び場が共同で、割合に狭く、大きい子供達に占領され、十分に遊べない。又大きい子供の影響を受け、西部劇、チャンバラごっこ等の好ましくない遊びをする。

3、子供の喧嘩が親同志の感情問題にまで発展する事がある。特に同じ職場である関係上、一般のアパート等の場合と異なる問題を持ち越しがちである。

4、駐留軍本部のヘリコプターが、日中絶えず飛びその騒音が、保育の妨げになる。

5、親同志が暗黙のうちに、我子の成績や成長、衣服、玩具、持ち物等を競う傾向がある。

7、文字通りの寄り合い世帯で個人主義的な、傾向が強く、我が子、我家の幸福という事には関心の度が強いが、地域全体とか、学校全体ということになると関心が薄い。

8、幼稚園や学校の問題について、熱心に協議はするが、物質的な面の協力という事は問題を残しがちである。

《地域社会の指導について》

勤め人が多い為両親の教養の程度も高く、幼児教育についても深い関心と、認識を持つているが、集団住宅の住人心理とて面白いおうか、我子さえ良ければという狭い気持が強く出て、生活習慣や病気の予防、保健衛生の面で、他の幼児の幸福を忘れ勝ちである。

こうした我子だけという狭い視野から脱皮して、広く幼児教育を理解し、多くの幼児の福祉の為に、一人々々の親達が、民主主義の精神に立脚して、相協力し、家の太郎も隣の花子も、みんながよい子になるように、助け合つていくように、地域別懇談会や月例の保育参観、PTAの教養部会を通じて指導している。

特に両親の平均年齢(三十二才)が若いので長子、次子が多く、終戦後に親になった人達で、終戦後、にわかには解放された、自由主義、個人主義の立場から、履き違えた自由主義教育の方針で、子供を養育して来たこと、転勤、転居等の為、基礎的な生活の良習慣が身につけていないから、躰の面では特に留意し、保育参観の折りには、特に集団の中の我子の行動や位置を見てもらい、この中から問題をみつめて、子供の実態を中心に保育向上の為の座談会を持つている。

座長も父兄の中から適当な人を順番に決めて、会を和やかに進めていくようにしている。この座談会の中において、日頃家庭で困る問題、家庭での幼児の生活とを結びつけて、幼稚園生活と家庭生活

が直結していくように、父兄と教師が常に密接に連絡を取り、協力一致して指導している。

又父親の外食時の不在という事も、幼児教育上大きな問題を持つているので、学芸会、運動会などの行事を通して協力を求め、両親揃つての教育にこそ、より教育の効果のある事を認識してもらおうにしている。

尚父親の会というのも計画して、出席出来る可能性のあるグループを作り、月に一度土曜日の午后に日を定めて、幼児を中心にした会を持つようPTAの、委員会で話合っている。

《PTAの会の持ち方としては》

1、月例の会は毎月廿日前後、午前十時より十一時まで保育参観十一時より十二時まで保育座談会。

2、教養部会は二ヶ月に一度、この道の権威者、専門家に講演を依頼している。

3、園で徹底したいと思う躰や教育事項については、簡単なパンフレットにして渡し、保育計画については、入園当初に「本年の保育計画」として一年間の計画を、細部に亘つては週報を印刷して毎週連絡している。

次に週報の一例を挙げてみよう

家庭ではこのプログラムによつて、幼児の幼稚園での生活を知り例えば、ラジオ聴取の時間になると、母の朝の仕事を手早く済ませラジオをきき、自分の子供がどれだけ、ラジオの内容を把握したか

生活歴史		目標		展開		指導の要点		評価	準備	
単元	秋の野山へ行きます	小単元	秋のみのり							
生活歴史	目	展開	展開	指導の要点		指導の要点		評価	準備	
勤労感謝の日	<p>「知のて」自ら力、興、心、物、と創作と教職を兼用して、自然の趣意と働く心を助長する。</p> <p>「三つ」自ら力、興、心、物、と創作と教職を兼用して、自然の趣意と働く心を助長する。</p>	<p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p> <p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p>	<p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p> <p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p>	<p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p> <p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p>	<p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p> <p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p>	<p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p> <p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p>	<p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p> <p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p>	<p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p> <p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p>	<p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p> <p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p>	<p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p> <p>「話」を「歌」に「書」く「よ」む。</p>
曜日	望	望		望		望		望		
時間	9.10	10.00	10.20	10.40	11.00	11.30	1.00	1.30		
月	22									
火	23	勤労感謝の日								
水	24									
木	25									
金	26									
土	27									

- ◎ 二十六日は、本校の社会科研究発表につき午前保育で月桂ぎに園外保育いたします。カベンはありません。
- ◎ 今週のお約束 1、室内では静かに。2、何でもらいたた。3、廊下を走らない。4、手をきれい。
- ◎ 自由画時代 四十五円、名前を書いてお持たせ下さい。

夕食後の団ランの話材にし、聴覚による理解の度を評価したり、知識の補足をしたりしている。又その日が園外保育の日であれば、幼児の身体の調子を丹念に観察したり、持ち物や服装、特に履物等に気を配ったりしているようである。

このようにして一枚の週報をつながりとして、幼児を中心に、家庭より、幼稚園へ、幼稚園より家庭へと幼児の生活の流れがよどみなく流れるしくみになつてゐる。

《保育の方向》

家庭は集団住宅が多く、子供の数と比例して遊び場が狭く、幼児はいつも狭い枠内での遊びを余儀無くされている。こうした点に幼児の社会性の正しい成長を阻害する原因も生れて来ると思われるので、幼稚園では広い遊びの場と、自由に使える遊具や玩具を十分に用意し、子供が自発的な意志にもとづいて生き生きと遊びが發展しグループの遊びが、共同の目的のもとに、秩序正しく行われるようにし、民主社会のよき一員として成長していくように指導している。

又激しい活動の後には床に草蓆を敷いて、横になつて休息をとらせ夏は昼食後一時間の昼寝をさせるなどして、健康に注意すると共に正しい食生活をするように、副食しらべをして、出来るだけ調和のとれた栄養をとらせるように、家庭と連絡をとつてゐる。

特にこうした集団住宅に生活している幼児に取つては友達との協調、融和という事が先づ何より大切であるから、お互の生活や行動が公明であるように、廻りの大人達が注意し、範を示すように仕向け、一寸した自分の不快な感情も抑制出来るように導き、何の屈託

もなく楽しい生活が営めるようにする事が望ましい。

以上述べた事は極めて普遍的な事柄で、何処の園でも考えられている平凡なことであるが、本園では特に集団住宅に住いを持つてゐる幼児達であるから、この点を強調して保育の歩を進めている。

《結 び》

このように同じ新宿区内にあつても、地域的な環境や人間的環境の差によつて、幼児の生活している場が違つて来るので、こうした場から来るいろいろな問題を分析し、それがどのような原因から起るものか、又教育の上にとどのような影響を及ぼしているか、子供の実態調査をして、その上に立つて教育の方向づけをし、教育が地域社会より浮き上つたものでなく、その土地に根をおろし、枝をはつていくようにしなくてはならない。

(東京・牛込仲之幼稚園)